

科目名					授業の種類	授業担当者
保育内容総論					演習	下平正恵
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
2	1	30	15	後期	幼児： 必修	保育士：必修
[授業の目的・ねらい] ・幼児教育とは園生活全体を通して総合的に指導するという考え方を理解し、具体的な子どもの姿と関連づけながら、適切な環境を構成し実践するために必要な知識を身につける。具体的には、幼児教育の基本に基づく指導の考え方、発達を見通した指導計画作成、指導の方法などについて理解し、実践する力をつける。						
[授業全体の内容と概要] ・幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領を通して、遊びを通した総合的な指導、子どもの自発的、自主的な活動を引き出す環境の構成、一人ひとりの子どもの理解とそれに基づいた援助や評価などの考え方を理解する。また、指導計画の考え方、具体的な子どもの姿から指導計画を作成する方法について学ぶ。事例や視聴覚教材、模擬授業を通して、実際の子どもの姿をイメージしながら具体的な指導方法を身につける。ICTを活用した保育についても、タブレットやパソコンを使用しながら、積極的に取り組んでいく。						
[受講上の注意事項] ・授業には、意欲的・積極的に参加すること。 ・提出物の期限厳守。						
[使用テキスト] ・幼稚園教育要領解説(平成30年3月 文部科学省 フレーベル館) ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月 内閣府、文部科学省、厚生労働省 フレーベル館) ・保育所保育指針解説(平成30年3月 厚生労働省 フレーベル館) ・演習保育内容総論 (酒井幸子 守巧 萌文書林)					[評価基準] 試験・提出物90%、授業態度・積極性10%	
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項 目		授 業 内 容			
1	幼児教育の基本に基づく指導の考え方①		遊びを通した総合的な指導の意義と教師の役割			
2	幼児教育の基本に基づく指導の考え方②		幼児理解に基づく評価、小学校との接続			
3	5領域のねらい及び内容と遊びを通した総合的な指導①		事例を通して学ぶ			
4	5領域のねらい及び内容と遊びを通した総合的な指導②		パソコンやタブレットを活用した視聴覚教材を通して理解を深める			
5	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながり		事例を通して学ぶ			
6	幼児教育と小学校教育との接続		アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム			
7	環境の構成を通した実践の分析		インターネットによる情報収集およびそれを活用した視聴覚教材を通して理解を深める			
8	子どもの理解とそれに基づいた援助や評価の分析		インターネットによる情報収集およびそこから得られた知見に基づいて理解を深める			
9	教育課程・指導計画		PCソフトを用いた計画書作成			
10	長期指導計画・短期指導計画		PCソフトを用いた計画書作成			
11	支援が必要な子どもの理解と援助、クラス運営		事例を通して学ぶ			
12	家庭、地域、関係機関との連携		様々な支援の連携について学ぶ			
13	模擬保育①		指導案の作成を通して、子ども理解、ねらい、保育の内容、保育者の役割、評価について学ぶ			
14	模擬保育②		グループごとに実施し、振り返ることで考察を深める			
15	まとめ		試験			
実務教員としての経歴		保育所にて保育士として5年(そのうち1年副主任)勤務				
実務経験と授業の関連		保育者としての経験を活かし保育内容において必要な知識と技術を養う				